九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[2014]九州大学情報統括本部年報 : 2014年度

https://doi.org/10.15017/1560528

出版情報：九州大学情報統括本部年報. 2014, pp.1-, 2015. 九州大学情報統括本部
バージョン：
権利関係：

2014年度年報の発行にあたって

情報統括本部長　藤村 直美

情報統括本部は、九州大学の全構成員（教職員と学生）に教育・研究・事務・診療に必要な情報基盤（インフラ）と各種情報サービスを提供することを目的とし、情報基盤研究開発センター、情報システム部、および附属図書館の３つの部局を中心に、全学的な組織として 2007 年度に発足しました。情報統括本部自体は仮想的な組織ですが、必要に応じて全学からの協力を得ながら、幅広く活動を行っています。

2014 年度は、情報統括本部が従来から提供している無線 LAN（kitenet、edunet）、認証基盤、全学基本メールなどの運用、ソフトウェアの一括契約による情報環境の整備や学生 PC 必携化の推進などに加えて、ネットワークセキュリティに関連する分野に力を注ぎました。例えば、新しく保存期限が無制限のサービス（archive.iii.kyushu-u.ac.jp）を提供し、Proself Disk 機能を利用することで、重要なデータをパソコンに入れて学外に持ち出さなくても済むようにしました。また Web サーバをクラウドに集約し､高い情報セキュリティを維持できるための体制の構築などに取り組んでいます。

様々な情報セキュリティインシデントに対する学内への注意喚起も日本語だけでなく、英語も合わせて行っています。2014 年 12 月に設置されたサイバーセキュリティセンターと相互に協力・支援しています。こうした活動を踏まえて、情報統括本部は ISMS（ISO/IEC 27001 / JIS Q 27001）認証の３年目の更新を無事に終え、情報資産の適切な保護を行っている組織として世界から認知されています。

今後も安全・安心な情報基盤・サービスを提供できるように邁進する所存です。

本報告は、2014 年度の情報統括本部の主な活動を報告するとともに、将来のサービス向上に向けての方針や方向性を学内外の利用者に周知することを目的としています。学内外の利用者の視点に立って、新しい技術を取り入れつつ、安全・安心に、安定して、使い易い情報基盤と情報サービスを提供するためにも、利用者各位の忌憚のないご意見やご要望をいただければ幸いです。